

館長コラム (11)

集団越冬するキンカメムシ2種

世間での評判が悪い昆虫はたくさんいますが、カメムシもその一つでしょう。その原因は悪臭を発するからですが体は美しいものが多いです。今回紹介するオオキンカメムシ（オオキン）とナナホシキンカメムシ（ナナホシ）は、大型で美しい種類が多いキンカメムシ科に属しています。カメムシの幼虫はストローのような口を未熟の種子に突き刺し、その栄養を吸い取って育ちます。動物の体液を吸い取るサシガメの仲間もいます。

まずはオオキン（図1）ですが、2月5日付の紀伊民報の一面に「南方系カメムシ大量死」と掲載された種類です。2cmを超えるサイズでオレンジ色の地に黒色の紋があり美しく目立ちます。海岸林に多く長野では見たことがありません。写真は2012年4月7日にすさみ町江須崎の森のタイミンタチバナの葉にいたものです。モチノキやヤブツバキ、タイミンタチバナなどの葉の裏に集まって集団で越冬します。国内では関東から八重山諸島までの海岸の照葉樹林にいます。田辺では天神崎の森にいます。幼虫はアブラギリやセンダンなどの実をえさにして育ちます。



(図1) オオキンカメムシ

ナナホシ（図2）はオオキンより少し小さく2cmは超えません。金緑色に輝く地に7つの黒色の紋がある宝石のようなカメムシです。このナナホシの集団越冬（図3）を見ると感動的ですが、残念ながら和歌山県にはいません。国内では沖縄県に分布していて、このナナホシの写真は、1991年11月3日に沖縄県国頭村比地川で撮影したものです。那覇市の首里城近くの末吉の森でも見られます。



(図2) ナナホシキンカメムシ

カメムシは嫌われ者ですが、手にとってよく観察してみるとその美しさに魅了され、その発する臭いにも慣れて気にならなくなりますよ、きっと。



(図3) ナナホシの越冬

長野公民館だより

館長 米本 憲市 主事 浦野 泰之

事務所：田辺市中三栖805番地 三栖コミュニティセンター内

TEL：(0739) 34-0022

FAX：(0739) 33-0836

カードゲームでSDGsを楽しく学ぶ
長野地区令和4年度人権学習会のご報告

開催の直前に新型コロナの流行で中止となった昨年度のSDGs（人権）学習会。今年度は同様の企画で1月28日にリベンジを果たしました。

この学習会は、長野小学校育友会・同校学社融合推進委員会・長野公民館の共催によるもので、長野公民館の人権学習会を兼ねて開催されました。

講師には、学校現場でも積極的にSDGsの研究や普及に取り組んでこられた白浜第二小学校の西田拓大校長（地元西原在住で不動寺住職）を招き、楽しいカードゲームを取り入れたワークショップ形式の学習会となりました。



学習会には、地域住民24名が参加し、講師が地元住民ということもあってとてもアットホームな雰囲気が進められ、テンポのいい西田講師の分かりやすい解説のおかげでややもすれば難しい

印象を持ってしまうSDGsも、参加者の多くが理解が深まったと感想を述べていました。

カードゲームでは、経済・環境・社会のすべての評価部門で、12チームすべてが目標を達成することができました。ゲームは、現実とは違う仮想的な世界とはいえ、自分のことだけを考えず他者を思いやる長野の人たちの優しい特徴がゲームの結果にも表れたことが印象的でした。

写真は、SDGs学習会の様子。長野町内会館「清瀧」で。

目次	ページ
・カードゲームで楽しく学ぶSDGs学習会	1
・賭けない！飲まない！吸わない！健康麻雀で脳リフレッシュ	2
・人権を考えるつどいDVD視聴会	2
・ぶらりカメラ散歩(9)長野小ホテル学習	3
・館長コラム(11)集団越冬するキンカメムシ	4

移動図書3月の予定

- ①3月1日(水)
9:45～10:25
長野小学校
- ②3月22日(水)
9:30～10:10
長野東原

長野館区人口統計
(1月末現在)

人口：	621人
前月比：	±0人
世帯数：	324世帯
前月比：	+2世帯

賭けない！飲まない！吸わない！健康麻雀で脳リフレッシュ



令和5年1月～3月までの3ヶ月間、毎週水曜日に三栖コミュニティセンターで開催されている健康麻雀には、三栖や長野地域の方をはじめとする田辺市民の方14人が参加し、みんなで楽しく麻雀を楽しみながら認知機能を高めています。

少し古いかもしれませんが、麻雀といえばややもすれば、たばこの煙がモクモクで、お金を賭け、時にはアルコールを飲みながらという印象もあるのですが、この教室は違います。賭けない！飲まない！吸わない！の完全健全の教室で、田

辺市役所やすらぎ対策課の保健師など専門家チームの皆さんが教室を企画運営しています。集まった参加者らは、麻雀を通じて交流を深め、思考力を働かせながら仲間同士で認知症予防に取り組んでいます。認知症を正しく理解し、予防につなげることはもちろんですが、このような取り組みが、最近希薄になっている地域住民同士のコミュニケーションづくりや自主運営サークルの誕生にも繋がればと期待しています。

写真は、健康麻雀教室（第1回）の様子。三栖コミュニティセンターで。

♪♪♪ 人権を考える集い「DVD視聴会」のご案内 ♪♪♪

2月1日から14日までの間、インターネットを利用したオンライン配信で実施しました人権を考える集いの講演「人権とはどこか遠くにあるのではなく、あなたの身近に、心の中に」を、インターネット環境がないなどの事情で視聴することができなかった方々を対象に、DVD視聴会を開催します。

詳細は下記のとおりですので、視聴を希望される方は下記によりお申し込みください。

【DVD視聴会について】

と き：3月23日（木）午後2時～

ところ：三栖コミュニティセンター 2F 研修室

講 師：岩崎順子さん（命の講演家）

海南市在住。県人権啓発センター登録講師

一社京都グリーンケア協会講師など幅広く活躍中

演 題：人権とはどこか遠くにあるのではなく、

あなたの身近に、心の中に

参加費：無 料

申込み：3月15日（水）までに三栖公民館までお申込みください。電話番号 34-0022（三栖コミセン内）

その他：三栖公民館長野公民館合同開催



シリーズ? ぶらり カメラ 散歩(9) ホタルの里「長野」

田口川遊々倶楽部（有田川町）を招きホタル学習
長野小学校3～5年の児童 学社融合事業の一環で

学社融合推進事業の柱でもあるホタルの学習に長年取り組んでいる田辺市長野の長野小学校（山田隆校長）は1月27日、和歌山県の有田川町でカワニナの養殖やホタルの放流に取り組んでいる田口川ホタル遊々倶楽部の小澤会長、平畑さん、藤本さんの3名を講師に招き、カワニナやホタルの幼虫、成虫の生態、ホタルの養殖に必要な知識などを学びました。



この日の学習に参加した児童は、3～5年生の7名で、那須前公民館長の講師紹介の後、同倶楽部からパワーポイントを使った説明が始まりました。倶楽部設立後18年にも及ぶ取り組み



が紹介され、うまくまとめられた説明に児童たちも次第に引き込まれていきました。中には成虫が6匹しか育たなかったという失敗談なども交え、いかにホタルの養殖がデリケートで難しいということがひしひしと感じられました。

また、ホタルの幼虫はカワニナしか食べないというのが定説でしたが、なんと現在の研究テーマは、「カニカマも食べるのでは?」。某TV番組で放映されたことをヒントに、飼育環境を少しずつ変えるなどして実験を繰り返しているとのことでした。こ

のことが証明されれば、餌の確保が格段に楽になり、有田川沿線のあちらこちらで無数のホタルが乱舞する光景も夢ではなくなるかもしれません。

長野小学校では今回の学習を生かし、地域と学校が一つになり、自然の恩恵を受けながら、これまで取り組んできたホタルの養殖の活動を更なる高みへとレベルアップしてほしいものです。

写真右上は、学習の後の記念撮影。下は学習の様子。1月27日、長野小学校で。